

7月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成28年7月25日(月)	
開催日時	午後3時00分	
開催場所	市役所別館 3階会議室	
出席委員	委員 長 永山 真江 委員 田島 みき 委員 佐藤 るり 教育長 三笥 眞治郎	職務代理者 諫本 憲司 委員 岡部 博昭 委員 木下 靖郎
出席参与	教育次長 鈴木 俊行 学校教育課長 中島 靖彦 文化財保護課長 池田 寿生 咸宜園教育研究センター長 竹尾 秀広 兼 世界遺産推進室長 学校給食センター長 永瀬 常富	教育総務課長 高瀬 享 社会教育課長 田中 孝明 博物館長 大島 誠一 淡窓図書館長 安養寺雄二 体育保健課長 渡邊圭一郎 人権・同和教育室長 伊藤 伸也
書記	教育総務課 総務企画係 主幹 (総括) 衣笠 雄司	
附議議案	議案第63号 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての 点検及び評価報告書について 議案第64号 教育財産の取得 (ガランドヤ古墳公園の整備用地) について 報告第18号 平成28年度大分県学力定着状況調査結果について 報告第19号 咸宜園教育研究センターの臨時休館日について	

永山委員長	<p>皆さん、こんにちは。ただいまから7月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>最初に、前回の議事録の確認をします。5月臨時教育委員会、6月定例教育委員会、6月臨時教育委員会の議事録について、変更などありませんか。（「ありません」の声あり）では、本会議終了後に署名をお願いします。</p> <p>それでは、教育長からの報告事項をお願いいたします。</p>
教育長	<p>今月は、4月に大分県教育委員会が実施しました学力状況調査の結果について報告させていただきます。</p> <p>ご案内のとおり、この調査は、小学校5年生では、国語、算数、理科の3教科、中学校2年生では、国語、数学、理科、英語の4教科でそれぞれ「知識」及び「活用」の定着状況について調査するもので、大分県内全ての小中学校で実施しております。この調査では、県教委は小中学校ともに全国平均であります偏差値50を全ての教科、項目で超えることを目標としております。</p> <p>日田市の結果でございますが、小学校は、国語、算数、理科の「知識」「活用」、全ての項目で偏差値50超えるという結果でございます。中学校は英語の「活用」の項目のみが偏差値50を0.2ポイント下回りましたが、あとの国語、数学、理科の「知識」及び「活用」、それから英語の「知識」は偏差値50を超えるという結果でございます。</p> <p>こうした結果から、小学校は、これまでと同じように良好な状況にあると言えようかと思えます。また、課題でありました中学校の学力向上も、全ての項目で偏差値50を上回りました昨年に引き続き、今年もそれに近い状況でありますので、一定の成果が表れてきていると言えようかと思っております。</p> <p>ただ、他の市町村でも学力向上に力を入れてきておりますので、引き続き日々の授業や家庭学習の充実に努めていかなければと考えているところです。</p> <p>学力向上には、何よりも学校の先生方の力によることが大きいわけですが、市教委、学校、それから育友会の連携というのが大変重要であろうかと思えますので、学校とともに一体となって、子供たちの学習意欲向上や学力の定着に今後とも取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
永山委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>議案第 6 3 号について、説明をお願いします。</p> <p>議案第 6 3 号、教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について、教育総務課より説明をいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>それでは、議案集の 1 ページをお願いいたします。議案第 6 3 号教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書についてでございます。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 6 条に基づきまして、報告書を作成するものでございます。お配りしております資料の別冊 1 で説明をさせていただきます。</p> <p>まず、この評価報告書でございますが、先ほど申しましたとおり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき報告書を作成しようとするもので、今回、この報告書の原案を事務局で作成いたしました。</p> <p>この報告書の作成日程につきましては、先の 6 月定例会で御協議をさせていただきましたが、今年は大分大学の山崎教授、久留米大学の森教授、そして別府大学の長尾准教授に外部評価委員への就任をお願いいたしました。</p> <p>本日、この原案を御承認いただきましたら、早速 3 名の評価委員へ報告書をお届けしたいと考えております。</p> <p>そして、8 月 2 2 日に評価委員並びに教育委員さん方に御出席いただきまして、報告書の内容についての説明会を開催する予定でございます。</p> <p>その後、9 月には外部評価委員から意見書を提出していただきまして、1 0 月の定例教育委員会で教育委員さん方に御報告をさせていただきます。</p> <p>そして、御承認をいただいた後、1 2 月の市議会定例会で教育福祉委員会に報告し、市のホームページで公開する予定でございます。</p> <p>なお、一連の協議の中でいただいた御意見などは、次年度の事業に反映できるよう努めたいと考えております。</p> <p>それでは、報告書の主な点についてのみ御報告をさせていただきます。</p> <p>まず、1 枚めくっていただきまして、1 ページをご覧ください。1 ページは目次と、この報告書の目的と根拠となる法律の条文を記述しております。</p> <p>2 ページは、教育委員さん方の役職とお名前、そして日田市教育</p>

委員会の組織図となっております。

3ページをお願いいたします。3ページでは、市教委が所管をしております施設名の一覧となっております。上から小中学校、社会教育施設、公民館などになりますが、3番目がスポーツ施設、そして一番下が文化施設となっております。

4ページから6ページは、平成27年度の教育に関する主なニュースと各種会議の開催状況でございます。

新たな会議といたしまして、5ページの一番上の表に4回開催いたしました総合教育会議を記載しております。

7ページから8ページは、点検評価の方法についての記述をしておりますが、7ページには、日田市教育行政実施方針の体系を簡単にまとめております。評価調書は、この体系の項目に沿って各種事業の成果を評価して、有効性と進捗度に分けて5から2までの点数をつけております。そして、この個別評価の平均点に基づいて教育行政実施方針の主な取組がどの程度達成されているかを、AからDの4つのランクで表しております。

9ページをご覧ください。9ページは、報告書の見方でございます。

10ページは学識経験者として評価をお願いいたします3名の先生方のお名前と所属となっております。

11ページから16ページは、定例教育委員会の会議で御審議や御協議などをお願いいたしました案件を開催月ごとに、また教育委員さん方が出席した会議や学校行事などの一覧となっております。

17ページから最後のページまでが、評価調書になります。本日は時間の関係もございまして少し割愛をさせていただきます、昨年度の評価が変わった部分のみ紹介をさせていただきます。

まず、21ページをご覧ください。こちらは義務教育の充実でございます。個別評価の上の段、事業または取組名は「確かな学力育成支援事業」です。確かな学力を育成するため、昨年度は漢字検定と英語検定の受験費用を公費で負担いたしました。漢字検定では、小学校4年生は全額の補助。5、6年生の希望受験者は半額の補助。中学1年生の英語検定は全額の補助。2年生の希望受験者は半額の補助でございました。

受験率は、小学校4年生で98.1%、5年生で30.6%、6年生で33.7%でした。事後のアンケートでは、「漢字が好きになった」「来年もチャレンジしたい」など、肯定的な回答も多数見られております。

英語検定の受験率は、中学1年生で99.5%、2年生で47.4%でした。

また、1月に実施した学力調査では、昨年度に比べ多くの教科で全国平均を上回り、課題でございました中学1、2年生の数学・英語で改善傾向が見られる結果となりました。

従いまして、有効性、進捗度ともに5として、下の段の日田市学力向上アクションプランの取組と合わせまして、平均値が4.7になりましたので、総合評価が昨年度のBからAとなっております。

次に、41ページをご覧ください。こちらは地域と連携した学校づくりの推進でございます。個別評価の中ほどの欄をご覧ください。事業または取組名は、学校運営協議会に関する研究の推進でございます。

一昨年は、学校運営協議会の組織づくりの具体的提案を行うことができなかったことから、進捗度は2でございました。昨年は、大明小中学校を学校運営協議会の研究校として学校づくりの研究を行い、その成果を他校にも還元したことから、指定校の研究の準備に取りかかれたことから、進捗度を4とした結果、3つの事業の平均値が4.8となり、総合評価もBからAとなっております。

続きまして、44ページをご覧ください。こちらは施設の効率的な運用と統廃合で、事業または取組名は、学校給食調理場施設整備事業でございます。

昨年度は、大山学校給食調理場と前津江学校給食調理場の統合について、市の方針決定まで至らなかったことから、進捗度を3としたため、平均値が4となり、総合評価は昨年のAからBとなっております。

この3点が昨年度と大きく総合評価が変わった部分でございます。

次に、50ページをご覧ください。主な取組は、生涯学習施策の総合的推進のための連携の促進と強化の項目でございます。

昨年、佐賀大学の上野教授から、公民館の活動について具体的な活動内容が見えにくいとのご指摘をいただきましたので、今回から、51ページ、52ページに、各公民館の活動を一覧表にして、事業内容がわかるような一覧表を追加いたしました。こちらで、それぞれの公民館の教室の内容等がわかるようにしております。

以上が昨年の評価に比べて変化があったものでございます。

本日、御意見をいただきました内容、もしくは後日でも結構でございますので、お気づきの点がございましたら御連絡をいただきまして、その内容を反映して、原案として先生方にお届けをさせていただきますようお願いしております。

説明は簡単でございますが以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

永山委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議案第63号について、御意見、御質問などありましたら、お願いいたします。</p>
諫本委員長 職務代理者	<p>今年で5年目となり、まとめ方が上達したというか、今年の分を見て、まとめ方では、ほとんど何も気になりませんでした。読みやすくなったし、内容がわかりやすくなった感じがするのと、目的・内容と成果・評価のところでも、意外とどうだったかとかというのが分かったし、よかったと思います。</p> <p>一つ質問ですが、17ページの市民と共に創る教育委員会づくりの推進の積極的な情報公開の推進の評価の部分で、「教育委員会だよりの発行や定例教育委員会の開会日・議題の公開については課題が残った」となっています。開会日については、日程調整等で公開が難しいかもしれないですが、議題の公開について課題が残ったというところがよく分らなかったのですが。</p>
教育総務課長	<p>定例教育委員会は、ホームページや広報でお知らせしますが、どうしても教育長や教育委員の皆さんの日程調整の関係上、例えば、先3カ月分を何日の何曜日、何時から開催しますというお知らせが、今のところなかなかできないということがひとつ課題としてあります。</p> <p>また、議案については、約1週間前には作成しますので、本来であれば、その議案までホームページ等で公表すれば、3時からの教育委員会ですので、1時間半全部は見なくても、この部分だけでも聞きたいという方はいらっしゃるのではないかと思います。</p> <p>特に、以前は県教組の書記の方などがいらっしゃっていましたが、今度、市でもフェイスブックなど、情報伝達の手段としてアカウントを持ちましたので、そういった手段を活用して、もう少し具体的に、こういった議題が今回の教育委員会で協議されますよというのを少しアピールする方法を考えたほうがよかろうということで、進捗度のほうは4にさせていただいたということです。</p>
諫本委員長 職務代理者	<p>では、この議題の公開についての課題というのは、先の話なんですか。終わったことの結果というよりも、直前の公開ということですか。わかりました。</p>
永山委員長	<p>私も今と同じところで質問があったんですが、教育委員会だよりの発行とありますが、今でも各課からの発信というのは市の広報ですとか、いろんなところから十分出していると思ってい</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>ましたが、それとは別に教育委員会として何か単体で発行するという新たな計画があったのでしょうか。</p> <p>　　昨年は、年1回もしくは2回、教育委員さん方でどういった活動していますよということや、委員長の御紹介であるとか、教育長の紹介であるとか、そういったものを、広報に載せる方法もありますが、どうしても紙面が限られますので、班回覧で御紹介する予定としておりました。</p> <p>　　ところが、昨年が総合戦略の関係に時間を費やしてしまいましたので、発行することができませんでしたので、その部分です。今年は、事務局のほうで最低でも1回もしくは2回発行したいと考えております。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>各課からのお知らせとかというのはまた違うものですね。わかりました。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>配布先につきましては、自治会にお配りするのがいいのか、連合育友会にお願いして各育友会にお配りするほうがいいかは、また考えたいと思います。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>わかりました。ほかにありませんか。</p>
<p>諫本委員長 職務代理者</p>	<p>46ページの学校給食費の未納問題解消のところですか。内容を見ると、すごくいい結果というか、やっているのだなというところはわかりますけれども、内容を見たときに、徴収に力を入れたということの内容だとは思いますが、よかったのは強化月間みたいなをつくったので、催告がやりやすかったということですが、何か具体的に現場で工夫とか何かあったのですか。</p>
<p>学校給食 センター長</p>	<p>具体的に8月、12月には強化月間を設けたのですが、一番大きかったのは、学校と連携してその未納者の方を教えていただいて直接訪問したことだと思います。</p>
<p>諫本委員長 職務代理者</p>	<p>それまで余り直接訪問というようなことはしていなかったのでしょうか。</p>
<p>学校給食 センター長</p>	<p>8月と12月、2月にも直接訪問しております。</p>

<p>諫本委員長 職務代理者</p>	<p>前にも実施していたのかわからないですが、強化月間とかを決めると、そういうことですのでということが言えるので、行きやすいのかなと思ったのですが。</p>
<p>学校給食 センター長</p>	<p>そうですね、そういうこともありました。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ほかにありませんか。</p>
<p>岡部委員</p>	<p>17ページに戻りますが、3番目の一番下のところですが、平成27年10月から教育委員を2名増員ことがプラスであったかどうか、自分自身その増員の中に入っているんですが、自分でも余りプラスになったかどうか、今からプラスになるように頑張らないといけないのですが、評価は5でいいですか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>2つあると思います。1つは、教育委員会の制度を改革するに当たって2名増員をするというのは、少しでも民意を反映させるというのが大きい目標にありましたので、その点については、まず2人増員させていただきましたので、その目標は達していると思います。</p> <p>それと合わせまして、勉強会あるいは定例教育委員会を通じて、いろいろな意見をいただいておりますので、少なくとも私たちが当初の目的としていた有効性と進捗度というのは達成しておりますので、有効性あるいは進捗度は5で私は大丈夫だということで、つけさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>私もこの部分で質問があったんですが、ここだけ見ると2名増員して、下に選考過程とあるので、2名とも公募をしたように読めないかなと思ったんです。それで、2名増員、うち1名公募とかというのは書いたほうが、先生方にわかりやすいのかなと思いました。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>ありがとうございます。その分は修正させていただきます。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>お願いします。ほかにありませんか。</p> <p>質問します。51ページ、52ページの公民館の事業の一覧表のところで、星がついているのは何の印なのか、何も備考とかがないんですが、これは何でしょうか。</p>

社会教育課長	これは確認して、説明を記載したいと思います。
永山委員長	<p>下に米印か何かで書いていただけたらと思います。</p> <p>もう一つ質問します。59ページの図書館機能の充実のところです。個別評価の3つ目のところが進捗度3になっています。ここについては、ここ数年少し足踏み状態が続いていると記憶しているんですが、検討してきていただいているようですが、進捗しない理由がこの表からはよくわからないので、例えば、これこれについては試行してみますとか、試行してみたけれども、日田ではこれはできなかったとか、何かそういう結果報告みたいなものを書けるものがないでしょうか。</p>
淡窓図書館長	私は去年から図書館長として、点検評価の説明会に出席しましたが、そのときにも指摘があって、本年度、少し方向を変えて内部で実施しているのですが、今年度の評価というか、少し利用者が増えてきています。それで、これは27年度の評価ですので、まだそのときは、そういう方向を考えればという形だったものですから、何らかの方法等とはってなかったということで、昨年の評価と変わっていないということです。
永山委員長	何か祝日開館とかも試行はしていただいていますよね、今でも。でも、何かその検討というのは、また来年度以降に形となって出てくるような段階ということですか。
淡窓図書館長	進んでいないというのが現状です。
永山委員長	わかりました。ほかにはありませんか。よろしいですか。今日の修正を加えて先生方にお渡しするんですよね。
教育総務課長	今いただいた意見で修正をして、先生の所に今週と来週でお渡しいたします。そこで簡単に説明して、22日の説明会に臨むということになります。また、22日に委員さん方も御意見があれば、そこで発言をお願いしたいと思います。
永山委員長	<p>皆さん、よろしいですか。</p> <p>それでは、議案第63号教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について、原案のとおり可決といたします。</p> <p>次に、議案第64号について説明をお願いします。</p>

教 育 長	議案第64号、教育財産の取得（ガランドヤ古墳公園の整備用地）について、文化財保護課より説明いたします。
文化財保護課長	<p>文化財保護課でございます。議案集の2ページをお願いいたします。</p> <p>議案第64号、教育財産の取得（ガランドヤ古墳公園の整備用地）について御説明をいたします。</p> <p>上程の理由といたしましては、史跡ガランドヤ古墳の保存整備に必要な土地を取得しようとするもので、1件300万円を超える教育財産の取得を申し出るものでございます。</p> <p>取得する財産の内容につきましては、次のページに図面を添付しておりますので、3ページのほうをご覧いただきたいと思っております。</p> <p>中央の点線で囲まれた部分が国の史跡指定を受けた部分で、緑色の部分が既に公有化を終了しております。今回の取得部分はピンク色で塗られた部分で、土地の所在は、大字石井字尾園1134の1、1142の2、1130の16の3筆で、合計面積が1,288.91平方メートル、合計金額が4,287万1,709円となっております。</p> <p>また、契約の相手方は、大字石井の江田正様の御家族3人と、大字日高の瀬戸口節子氏の御兄弟3人の計6人でございます。</p> <p>なお、取得をしました整備用地は、主に進入路、駐車場、ガイダンス施設の整備用地として計画しているものでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
永 山 委 員 長	ありがとうございます。議案第64号について御意見、御質問などありませんか。
諫 本 委 員 長 職 務 代 理 者	取得して、またいろんな整備をされると思いますが、全体の整備が完了するのは、大体いつごろの予定でしょうか。
文化財保護課長	<p>今のところの計画では、30年の1次オープンを目指しております。本年度、進入路等用地購入いたしまして、平成29年度に公園内の進入路の整備をいたしまして、平成30年にガイダンス施設及び駐車場の舗装を終えまして、1次オープンを行いたいと考えております。</p> <p>その後、まだ未整備の2号墳並びに都市計画区域に指定されております公園としての未整備部分につきましては、今後の計画を今から立ててまいるといような段階でございます。</p>

永山委員長	2号墳も、今の1号墳のような外観になる予定があるんですか。
文化財保護課長	2号墳につきましては、この古墳がございます周りの地盤が、1号墳より弱い状況にあるというような報告を今いただいています。それで、同じような整備は難しいと考えております。この前の地震のような大きい地震があった場合、1号墳のような整備の仕方を行いますと、下の地盤が弱いと、そのまま上だけずれたり、そういったこともあり得るということで、こちらのほうは、いま一度別の角度からの視点が必要かと考えております。
永山委員長	<p>わかりました。ほかにありませんか。よろしいですか。</p> <p>では、議案第64号、教育財産の取得について、原案のとおり可決といたします。</p> <p>次に、報告事項について、報告第18号について説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>学校教育課でございます。報告第18号、平成28年度大分県学力定着状況調査結果についてでございます。</p> <p>別冊2をご覧ください。</p> <p>まず、表紙をめくっていただいて、1ページです。</p> <p>実施期日は4月14日、対象学年は小学校5年生と中学校2年生です。調査内容につきましては、小学校5年生は国語、算数、理科の3教科、中学校2年生は国語、数学、理科、英語の4教科と学習・生活に関する質問紙調査でございます。(4)には、本調査の報告にかかわる用語の説明をしております。</p> <p>2番の調査結果の概要ですが、それぞれ偏差値と平均正答率で数値を示しております。色つきの部分は、偏差値が50以上、平均正答率は大分県値以上で示しております。</p> <p>まず、小学校5年生の結果ですが、一番上にあります、表の色つきの部分でわかりますように、偏差値では全ての教科・領域で50以上を達成しており、引き続き標準的な学力の定着が十分に達成をされております。これを平均正答率で見ると、国語の「活用」のみ県比より低くなっておりますが、九州でもトップレベルの学力を誇っております大分県の小学生と比べてみましても、遜色のない結果でございました。</p> <p>ただ、2ページに、過去4年間の偏差値と平均正答率県比の推移のグラフを示しております。おわかりのように、上の偏差値のグラフではほとんど横ばいの状況であります。しかしながら、下のグラフはやや下降をしております。つまり、全国と比較すると、日田市</p>

の成績は変わらず高水準を保っていますが、大分県全体の中ではやや下がりがつあるということになります。

現在、先ほど申しましたように、大分県の小学校の学力は九州のトップレベル、非常に高水準であります。県全体で取り組んでいる学力向上対策の成果が表れているところがございますが、そのことから考えますと、県全体のレベルアップに日田市の小学校がややついていけなかったと捉えております。

次に、中学校の結果ですが、1ページに戻っていただいて偏差値から見てみますと、英語の「活用」のみ50を0.2ポイント下回っておりましたが、他の教科・領域では偏差値50を超えております。標準的な学力の定着が図られているという結果でございました。

その下の平均正答率の県比では、数学の「知識」、理科と英語の「活用」が下回っておりました。これを4年間の推移で見ますと、今度は3ページになります。上の偏差値の推移、下の平均正答率県比の推移とも、少しずつ上昇傾向にあるということがわかるかと思えます。これは中学校の学力向上対策が少しずつ実を結んできた結果であると捉えております。まだまだ課題はございますが、現在行っている授業改善、補充学習、家庭学習のさらなる充実を図り、安定した学力の維持と向上に取り組んでまいりたいと考えております。

4ページになります。総合質問紙調査結果の概要でございます。

この質問紙は、87の項目がありますが、今回、生活習慣や家庭での学習習慣に関することと、学習に対する意識等に関することの代表的な項目を示しております。

上段の自己認識や社会性の項目では、「夢や目標を持つこと」や、「規則や約束を守る」という肯定的回答が大分県全体よりも高くなっております。

そのほか、「自分にはいいところがある」や、「学校に行くのは楽しい」という回答は県の数値よりも低くなっておりますが、昨年度の回答よりも中学校の回答が高まっているという傾向がございます。

中段には、生活習慣や家庭での学習習慣を示しております。「朝食」であるとか、「計画的な学習」「予習」「復習」という項目が中学校で高く、「テレビゲームの2時間以内」という項目は、小学校が高いという状況です。

一番下段になりますが、学習に対する意識の項目では、小中学校とも「国語は好きで、わかる」という項目の数値が、県と比較して高くなっており、他の教科は若干低くなっておりますけれども、昨

年度の回答と比較してみますと、中学校の理科、英語の肯定的回答は高くなってきております。

次に、5ページに現状と分析、6ページに課題、7ページから今後の取組が載せてありますが、今後、この資料を使いまして校長会や教頭会で提示をして、各学校の改善に活用していきたいと考えております。

ここでは、ポイントとなる項目のみ説明をいたします。まず、5ページの分析のところですが、小学校の4つ目の丸、小学校では、これまでの取組を確実に実践しているものの、取組に大きな変化がないままで経過している。そのため、児童が問題を意識し解決しようとする意欲を引き出す授業や、児童が学習内容が「わかった」「できた」という喜びを実感する授業など、学習に対する実感をもたう授業づくり等の授業改善の取組がより必要と考えております。

6ページの分析のところの中学校の1つ目の丸です。英語活用が偏差値50に到達していないが、昨年に引き続いてほとんどの教科で偏差値50と目標値を上回りました。この結果は、平成25年度からの「学力向上に係る市内4中学校連絡会」によって、補充学習と家庭学習の内容や方法について見直しを行い、教師個人の取組から学校全体による組織的な取組へと改善を図り、市内全中学校へ広げたことが効果を上げてきていると考えております。

課題につきましては、同じく6ページの小中学校それぞれの3つ目の丸、課題のある学校の授業改善、補充学習、家庭学習の現状を把握し、目標達成に向けた組織的な授業改善等の取組の推進により、学校格差をなくすこととございます。

次に、7ページになります。7ページ、8ページに今後の取組を載せておりますが、これはどれも大切なのですが、その中では、(4)番、学力調査(県・全国)結果の分析と具体的対策の徹底でございます。各学校において学力調査結果を分析し、課題の解決に向けた具体的な取組を、授業改善、補充学習、家庭学習の中から作成し、実施するという点でございます。

まずは、各学校で結果の分析を行って、具体的な取組を現在推し進めている3つの観点から実施していくことが大切だと考えています。その際のポイントを(5)で示しております。

次に、8ページの(6)番、一番上になりますが、「学力向上に係る市内小学校連絡会(仮称)」の立ち上げと推進でございます。

「学力向上に係る市内4中学校の連絡会」と並行して、小学校による「学力向上に係る市内小学校連絡会(仮称)」を組織し、日田市小学校の学力・学習状況の現状から課題を協議して、学力向上に

	<p>向けての取組を検討し、市内小学校全体に広げていきたいと考えております。小学校の学力向上対策でございます。</p> <p>9ページ、10ページは、県教委から報道等に出されました大分県学力・学習状況調査結果の速報で、県全体の結果と各市町村の平均一覧でございます。御参考にしていただきたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
永山委員長	<p>ありがとうございます。報告第18号について御質問などありませんか。よろしいですか。</p>
岡部委員	<p>3ページですが、中学2年生の偏差値というのは、過去3年間を比較すると結構伸びてきたというのがわかるわけですが、同じ2年生同士を4年間比較したら過去よりは上がっていたと。これは、3年前の子供たち、小学校で3年前に受けたときの学力からすると、それは順調に伸びているかどうかという比較。比較は二通りありますよね。過去の2年生と比較する比較の仕方と、3年前からしたら順調に伸びているのかどうかの比較の仕方。</p> <p>そうすると、この子供たちは3年前は小学校5年生なので、前のページの小学校5年生の3年前を見ると偏差値が53くらいですか。そうすると、こういう解釈はどう解釈するか。今日はいいですが、データとして3ページは3ページで必要なデータで、これは過去よりはいいなとわかるんですけど、この子供たち自身の3年前と比較したら、小学校から中学校に上がるにつれて順調に伸びているかどうかというのもデータとして、次回からは欲しいなという気がします。一応、提言です。</p>
学校教育課長	<p>委員のおっしゃるとおりだと思います。そこでの分析も必要かとは思いますが。</p> <p>現在、日田市の学力向上対策の一番の課題は何であるかと言いますと、中学校の学力向上対策でございます。小学校の調査結果が中学校になると下がってしまうという状況があります。そこで、改善を図るために、三笠教育長が着任されて特に力を入れて取り組んでまいりました。それが、結果として、今、表われてきているところだと考えます。</p> <p>中でも、中学1年生のときの学力向上対策、これがやはり足りなかったのではないかと考えました。つまり、小学校6年間で培ったものが、1年生のときにちょっと落としてしまう。そこから回復していくことは困難であるために、数値が小学校では高く、中学校</p>

	<p>では低くなってしまおうという結果です。そのことから、現在の中学2年生も小学校5年生のときと比べると若干下がっています。しかし、この学年は中学1年生の学力向上対策が実りつつあって、今、上向いていると捉えています。その結果が、今回の結果にも表れていると思います。まだまだ完全ということはありませんので、また改善に向けて今後とも引き続きやっていきたいと考えております。</p>
岡 部 委 員	<p>頑張ってください。</p>
佐 藤 委 員	<p>今の学力に関して、うちにも今、中学校2年生、3年生と娘がいるんですけども、確かに全体の学力は少しずつ上がってきているようです。アンケートでも、国語の勉強が好きという生徒なんかが多いということで、大変喜ばしいことだなと思いますが、ただ、見ていると、国語の基礎力をつける読書の量が、うちの子供たちだけなのかもしれないんですけど、どうも少なく感じるんです。</p> <p>確かに宿題もあるし、部活もあるし、忙しいというのはわかるんですけども、もう少し読書の習慣をつける工夫が日田市全体でできないものかなと。親の態度も影響しているのではないかなと思うんですけど、例えば、病院の待合室に行くと、読書をしている方がほとんどいらっしゃらないんですよ。親がやっぱり読書をしていると、子供も読むので、親というか大人も気をつけないといけないでしょうけれど、もう少し読書力をつける工夫ができればいいなと感じます。</p> <p>それとあと、同じく今、英語も中学校1年生のときから見ていると、どうも単語力がいまいちついてきてないような感じがします。もう少し中学校1年生のころから単語の進級テストみたいなのをつくったり、子供にはちょっと負担になりますけれども、あるいは、楽しんでもらえる英単語の勉強を考えてみるとか。国語と英語は基礎になるので、もう少し英単語力もつけていただけるよう工夫してほしいなと感じます。</p> <p>以上です。</p>
学校 教育 課 長	<p>確かに国語については、読書をする、子供が文字に触れることができ、国語力が伸びるということはあると思います。</p> <p>現在、日田市全体で読書をしましようという大きなうねりというのはございません。ただ、学校は結果を受けて改善するための取組を行います。その中で、読書量が少ないのであれば、例えば朝の帯の時間で「読書の日」をつくって改善を図っている学校もあります。一時期、週に2回、2時間読書の日をつくるとかいう学校もあ</p>

	<p>りました。学校では、そういった「読書の日」を設定し、時間を確保して、本に親しませる取組をやっているところもあります。</p> <p>それから、英語については、確かに英単語力は必要だと思っています。その取組の最たるものが、昨年度から始まった、英語検定受験の取組でございます。1月に、この中学校2年生が1年生のときに英検の受験をしています。ですから、我々からすると、今度の中学2年生の英語の値がかなり高まっていると、とてもうれしんですが、「活用」がまだ足りませんでした。この取組は継続してやっていきたいと思います。英単語の進級テストにつきましては、各学校で今回の結果を受けて改善点を洗い出して、取組の改善を行いますので、その際の参考にさせていただきたいと思います。</p>
教 育 長	<p>読書については、おっしゃるとおりで、やはり子どものうちからたくさんの本を読むということが、しっかり考える力をつくっていくと思います。</p> <p>日田市では、全ての学校に図書館司書を配置しております。図書館司書と学校の校長を中心に、読書は大事ですよということは指導しております。</p> <p>今、お子さんのことでお話されたと思いますが、日田市の1人当たりの読書量は、県下で比べて全然下回っておりません。むしろたくさん読んでいるというふうに認識をしております。</p> <p>各学校でも読書月間というものに力を入れて指導しております。ただ、部活があったり、朝の時間は、学力向上の対策を今とっている学校が多いものですから、子供も限られた1日の時間の中で、どこで本を読むのかということが問題としてあります。読書月間や、あるいは家庭での読書の時間ということの中で取り組むほうが効果があると思いますので、そういうところは力を入れていきたいと思っています。</p> <p>英語の単語についても、おっしゃるとおりだと思います。今、学校教育課長が申しましたとおり、英語については、英語検定を取り入れたり、今後、咸宜園子供ガイドの英語バージョン等も検討しているところです。来年の春くらいには、そういう子供たちが活躍できる場をつくるつもりで、英語への関心も高めていきたいと考えております。</p>
永 山 委 員 長	ほかにありませんか。
佐 藤 委 員	10ページの市町村別偏差値の表ですけども、これで見ると、国東市とか竹田市は、全部平均を上回っていますね。この国東とか竹

<p>学校教育課長</p>	<p>田市が特別に何か取り組んでいることがあるのか。それとも、何か風土というか、もともと学問に対する熱心な人が多いのか、わからないんですけども、もし特別に何か取り組んでいるようなことがあれば、教えていただくことが可能なのでしょうか。何か知りたいなと思います。</p> <p>竹田市については、特に中学校のほうは昨年もテスト結果がよかったというふうに把握しています。その竹田市ですが、中学校の教科部会というのがあります。国語とか数学とか理科とかです。そういった教科部会の先生方が自主的に集まって、授業の改善とか、授業のやり方を協議する場が多いというふうに聞いています。</p> <p>日田市にも教科部会があります。年間4回、市教委が教科の先生が集まって協議をする場を設定をしています。今、日田市では年4回、定期的なもの。竹田市の場合は、それ以外の自主的な活動もやっているというような話は聞いています。それが学力向上対策につながっているのかもしれない。</p> <p>国東市については、把握をしておりません。こういうことを言うのであれば、例えば豊後高田、豊後高田は学力がずっと高いといわれているんですが、今回の結果を見ると、中学校のほうで課題が出てきている。やはり周りが頑張っているところもありますし、取組は、これが全てですよというわけではありません。</p> <p>現在、県全体でやろうとしていること、これをきちんと推し進めながら、日田市でも日田市バージョンと言いましょか、独自で取り組んでいる連絡会などによって、力が少しずつ上がってきていると思いますので、今後とも継続した取組を進めてまいります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>私から補足させていただきます。</p> <p>国東市の教育長とお話させていただきましたら、国東も昨年はそんなに中学校はよくなくて、力を入れたという話で、学校教育課長からありましたように、国東、竹田ともに、学校数は少なく、生徒数も日田、大分、別府と比べると少ないです。そういった中で、複数学級がない、単独学級の学校が多いものですから、いわゆる横の連携といいますか、教科部会の中で、統一した取組をしていこうというふうに昨年度からしている。それが国東はいい結果となって出てきていると思います。</p> <p>私たちも、豊後高田が中学校のこういう結果というのを非常に驚いているんですが、豊後高田は、いわゆる21世紀学びの塾等を放課後実施したり、そういうことで取り組んできておりますが、豊後高田も生徒数がそんなに多くありませんので、年によっては、こう</p>

<p>永山委員長</p>	<p>ということもあり得ると認識しております。</p> <p>したがいまして、日田市は、やはり大分市や別府市、それから佐伯市、中津市、そのあたりを視野に入れて、大分市とほとんど遜色はありませんので、やはり大分市がどうか、別府市がどうかというところを常に見て、学力対策に取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>ちなみに、国東、竹田が今回全て50を超えていますが、大分、別府、それから佐伯、日田が1項目だけで、2番手グループといえますか、県下全体から見ると、やはり大分、中津、佐伯、日田が学力が上がっていけば、大分県の中学校の学力も上がってくるというふうに認識しています。</p> <p>以上です。</p>
<p>咸宜園教育研究センター長</p>	<p>ほかにありませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは、報告第19号について説明をお願いします。</p> <p>咸宜園教育研究センターでございます。</p> <p>議案集の最後のページ、4ページをお願いいたします。</p> <p>報告第19号、咸宜園教育研究センターの臨時休館日についての報告でございます。</p> <p>咸宜園教育研究センター内の収蔵庫の燻蒸作業に伴いまして、臨時休館を行うものでございます。</p> <p>休館とする理由といたしましては、センター内の収蔵庫の中にある収蔵資料を文化財害虫等から守るために実施する収蔵庫の燻蒸作業の間、見学者及び職員の健康と安全を確保するために、臨時休館といたすものでございます。</p> <p>期間といたしましては、8月23日の火曜日の閉館後の夕刻から、25日木曜日夕刻までの3日間で行います。</p> <p>8月24日水曜日につきましては、通常の休館日となっておりますことから、8月25日の木曜日を安全確保のため、1日みの臨時休館日とし、作業を実施したいと考えております。</p> <p>なお、センターに御来観予定の皆様につきましては、御迷惑をお掛けしないよう、広報ひたや市のホームページ上において周知を行いますとともに、関係機関につきましては、文書により通知を行うことといたしております。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ありがとうございます。報告第19号について御質問などありませんか。よろしいですか。</p>

	<p>それでは、その他についてお願いします。</p>
教育総務課長	<p>私のほうから8月の定例教育委員会の日程をお願いいたします。</p> <p>8月26日の金曜日になりますが、1時半から勉強会、3時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。日程調整をよろしくお願いいたします。</p>
永山委員長	<p>26日ですね。わかりました。</p>
教育総務課長	<p>それから、点検評価の説明会は22日の10時から、こちらの会場で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
永山委員長	<p>ありがとうございます。そのほかお知らせなどはありませんか。よろしいですか。</p> <p>では、これで7月教育委員会を閉会いたします。皆さん、おつかれさまでした。</p>
	<p>終了時刻：午後4時5分</p>